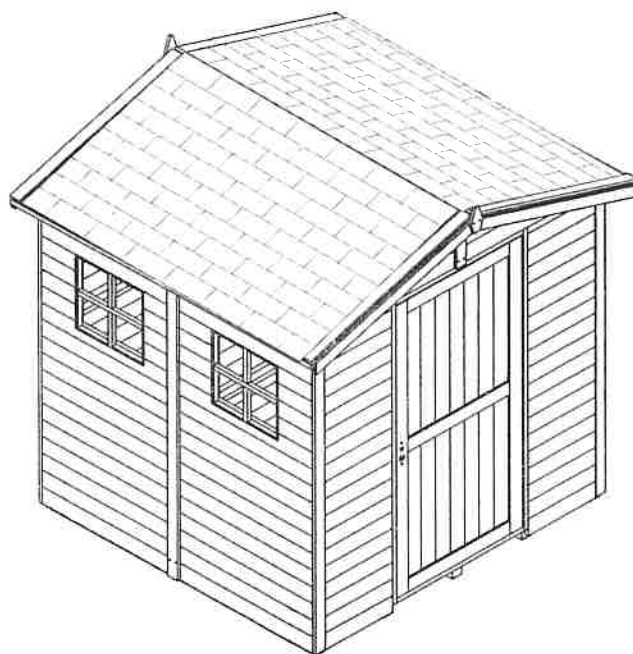


『GARDEN SHED G1818A』

—ASSEMBLY MANUAL— (組立説明書)



この度はガーデンシェードをお買い上げ下さいまして、誠にありがとうございます。どうぞ末長くご愛用いただきますよう、お願い申し上げます。

なお、このハウスの組立、ご使用にあたってのご注意についての本説明書は必ずお読み下さい。

安全確保のために設置場所及び転倒防止には充分御注意下さい。

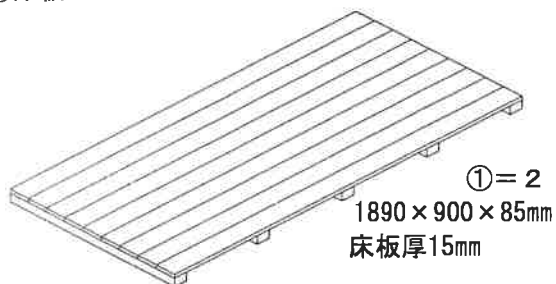
—ご準備していただく工具類—

- ・ハンマー
- ・ノコギリ
- ・水平器
- ・スコップ
- ・+ドライバー
- ・接着剤・ガン

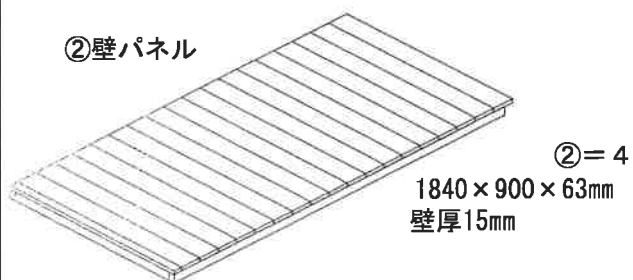
- ・インパクトドライバー
- ・カッター
- ・スケール
- ・ノミ
- ・基礎用1/2ブロック、又はレンガ

—部材リスト—

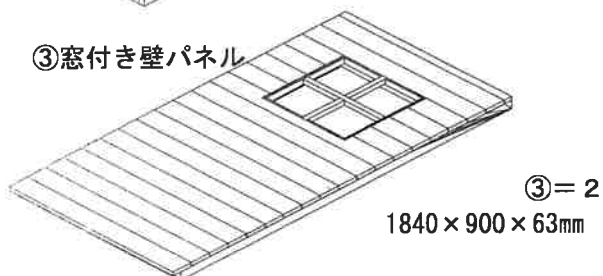
①床板



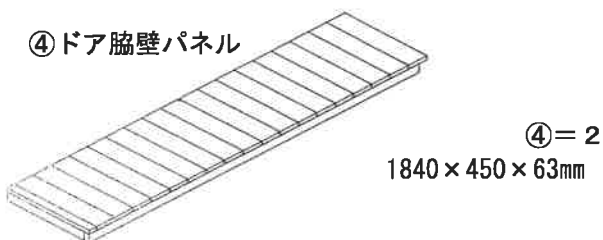
②壁パネル



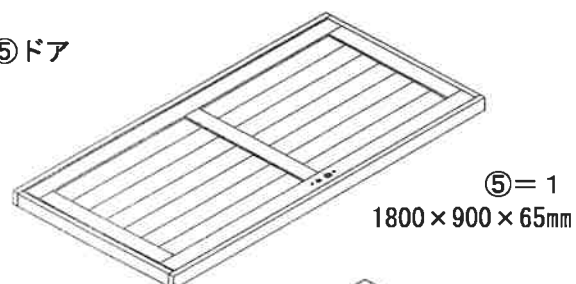
③窓付き壁パネル



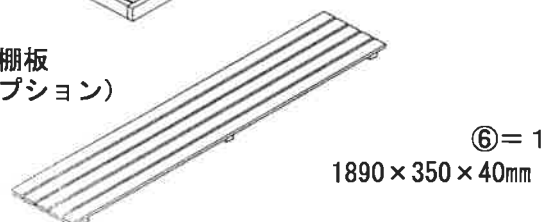
④ドア脇壁パネル



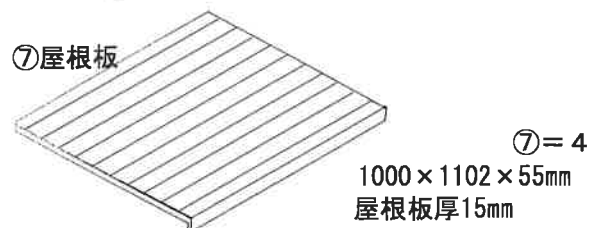
⑤ドア



⑥棚板
(オプション)



⑦屋根板



⑧



母屋転び止め

⑧= 4
300×65×45mm

⑨



棚受け
(オプション)

⑨= 1
350×25×25mm

⑩



棚受け
(オプション)

⑩= 1
430×340×40mm

⑪

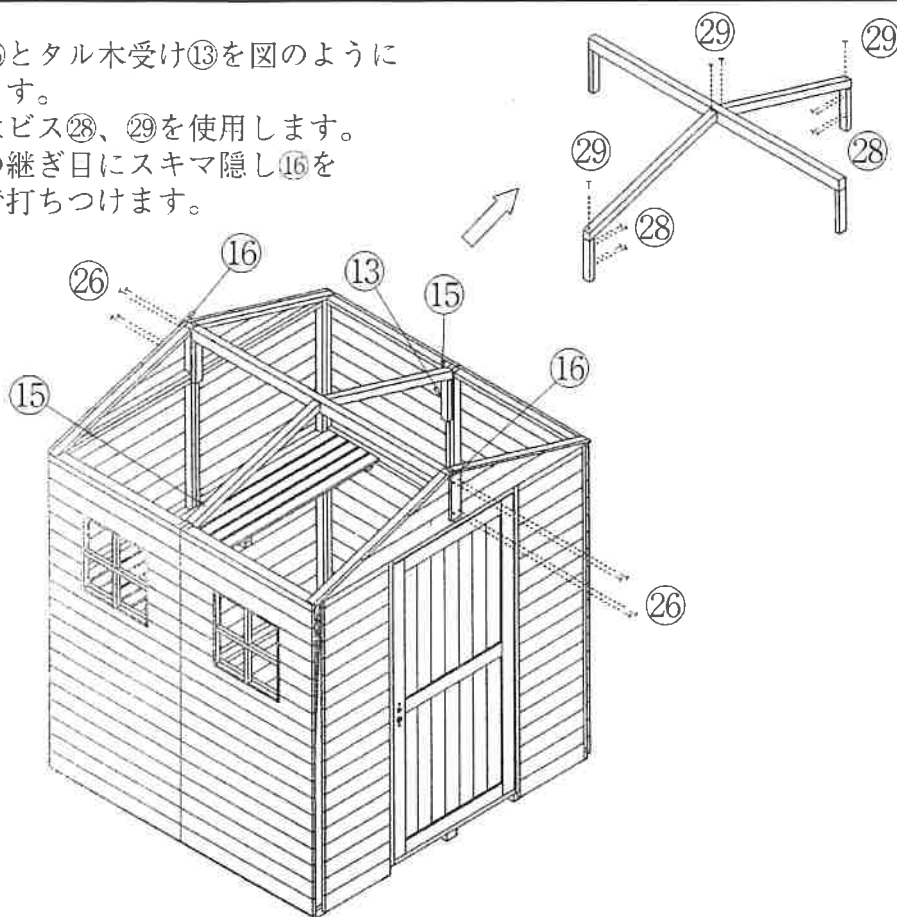


ツマ壁

⑪= 4
1008×300×65mm

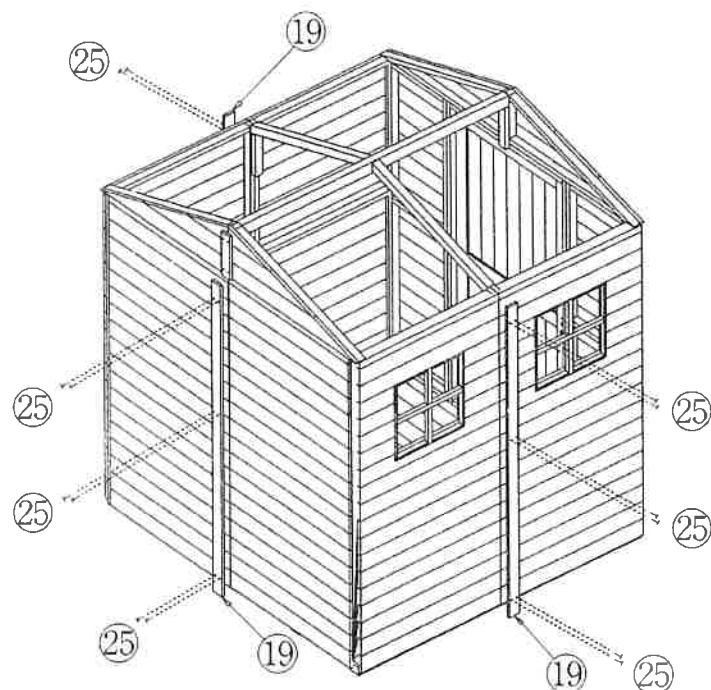
11

タル木⑮とタル木受け⑬を図のように設置します。
固定にはビス⑳、㉑を使用します。
ツマ壁の継ぎ目にスキマ隠し⑯を
ビス㉒で打ちつけます。



12

押さえ板⑲を、図のように壁パネルの継ぎ目に打ちつけます。
ビス㉓を使用します。



⑫ 棟木受け ⑫=2
250×45×27mm

⑬ タル木受け ⑬=2
250×45×27mm

⑭ 棟木 ⑭=1
1690×65×45mm

⑮ タル木 ⑮=2
919×45×45mm

⑯ スキマ隠し ⑯=2
260×65×15mm

⑰ 棟飾り ⑰=2
160×80×15mm

⑱ 押え板 ⑱=4
1840×63×18mm

⑲ 押え板 ⑲=3
1840×63×13mm

⑳ 破風 ㉔=4
1140×63×13mm

㉑ 破風 ㉑=2
2000×27×13mm

㉒ L型金具 ㉒=2

㉓ ビス ㉓=56
4×25mm

㉔ ビス ㉔=88
4×30mm

㉕ ビス ㉕=20
4×35mm

㉖ ビス ㉖=42
4×40mm

㉗ ビス ㉗=70
4×50mm

㉘ ビス ㉘=4
4×60mm

㉙ アスファルトルーフィング
㉙ 1m×7m

㉚ アスファルトシングル
㉚ 21枚×3ケース

㉛ アンカープレート
(オプション)

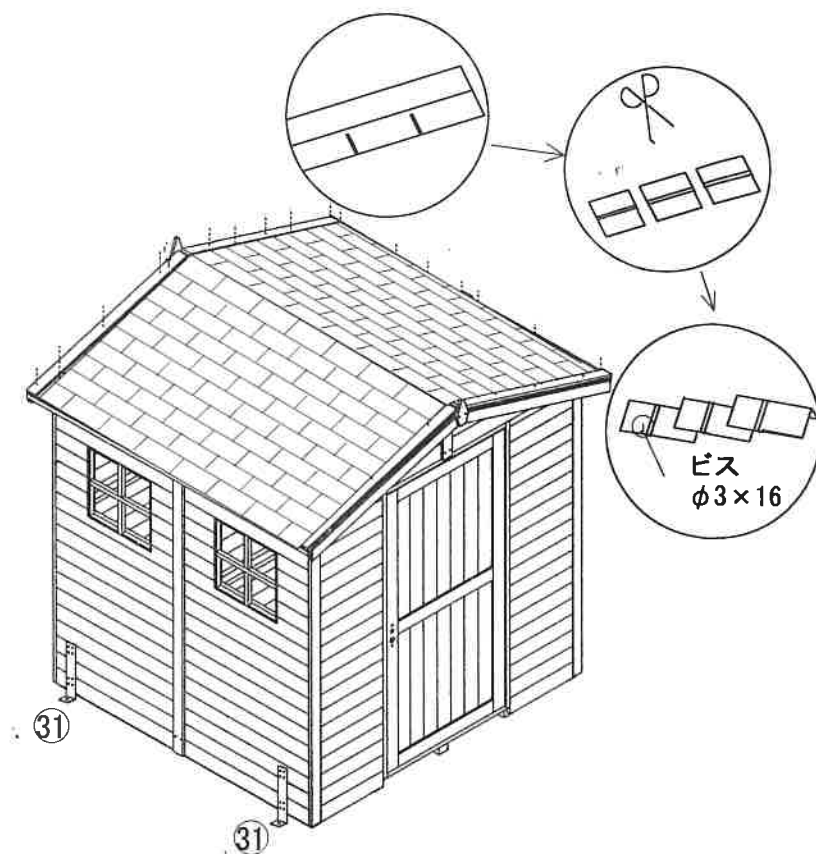
接着剤 別途

17

ルーフィングの上からアスファルトシングルをビス及び接着剤で固定してください。

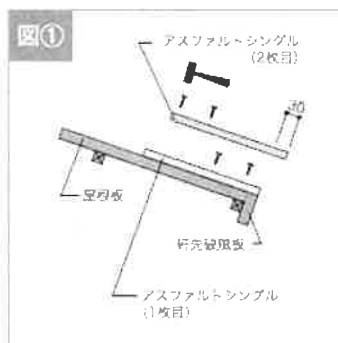
貼り出し(2重貼り)は、軒先から行い、最後に棟部を貼ります。

建物を地盤面に固定するため、四隅にアンカープレート③①(オプション)を打ち付けます。
(詳細は図18をご覧ください)

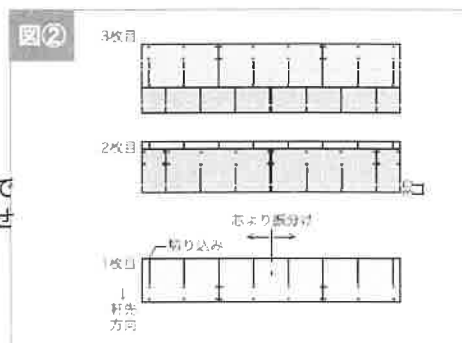


アスファルトシングルの貼り方

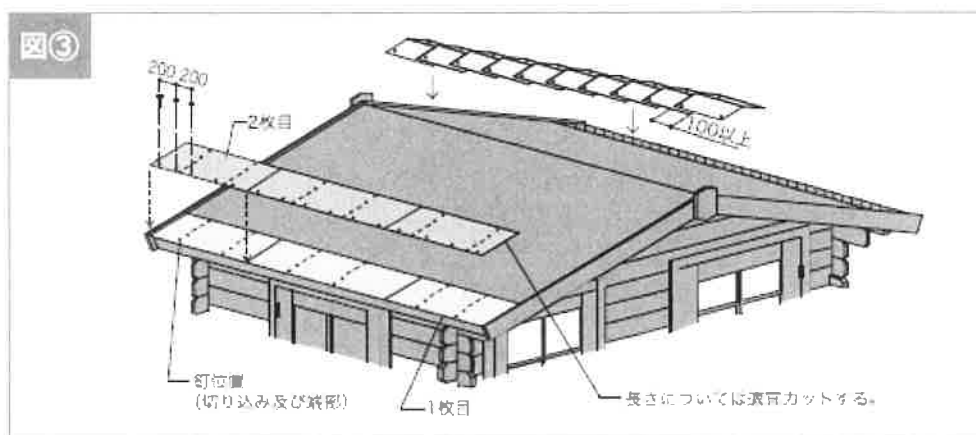
- ① 1枚目を切り込みが有る方を棟の方に向け、軒下の出先に合わせて、中央から貼る。
- ② 2枚目を切り込みが有る方を下にして、図①の様に軒先から30mm程度出して、釘で固定する。



- ③ 3枚目を切り込みが有る方を下に向けて、図②の様に貼る。
- ④ 同様に、図②の要領で棟部分まで貼り合わせていく。

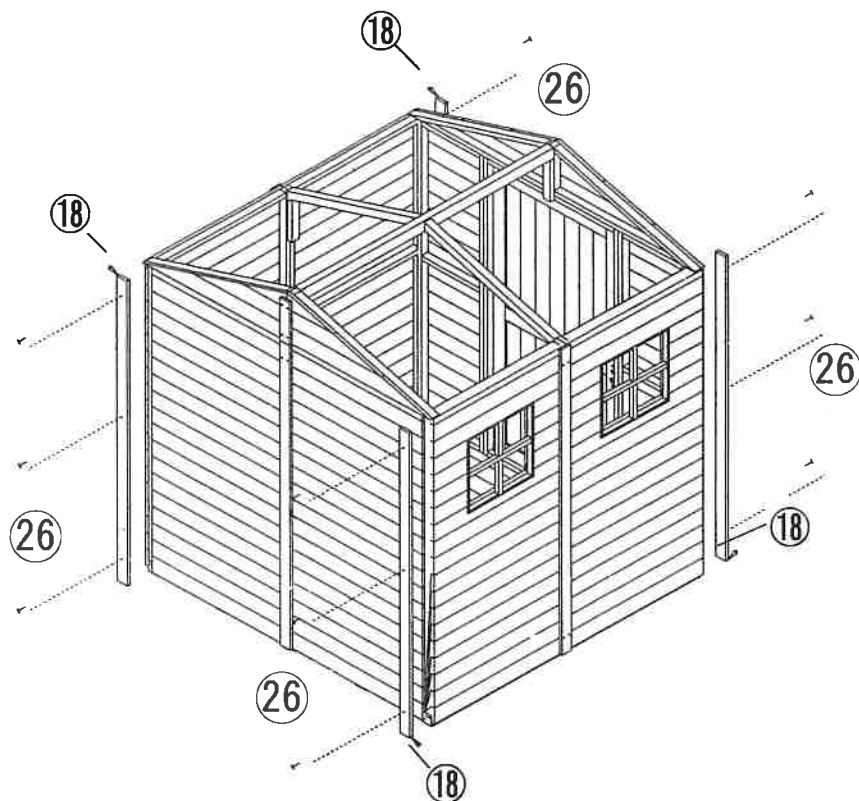


- ⑤ 棟部はアスファルトシングルの切り込み部分をカットし、図③の様に100mm程度重ねながら、貼り合わせる。



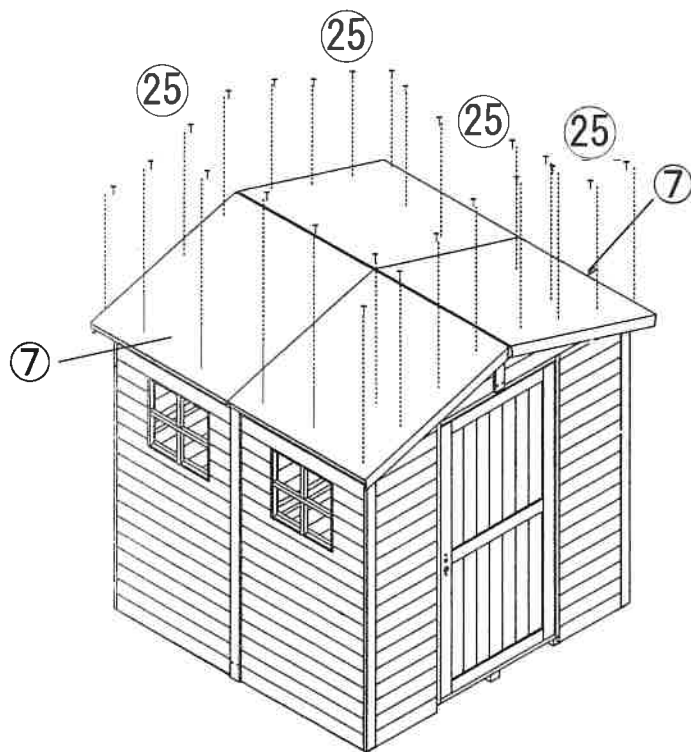
13

押さえ板⑮を、図のように建物の四隅に打ちつけます。
ビス⑮を使用します。



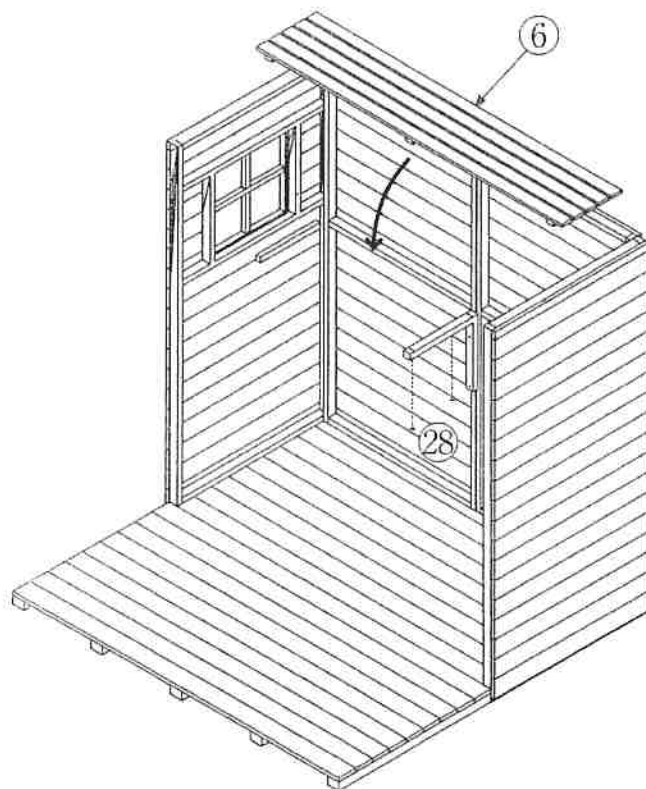
14

屋根板⑦をのせ、ビス⑮を打って固定します。



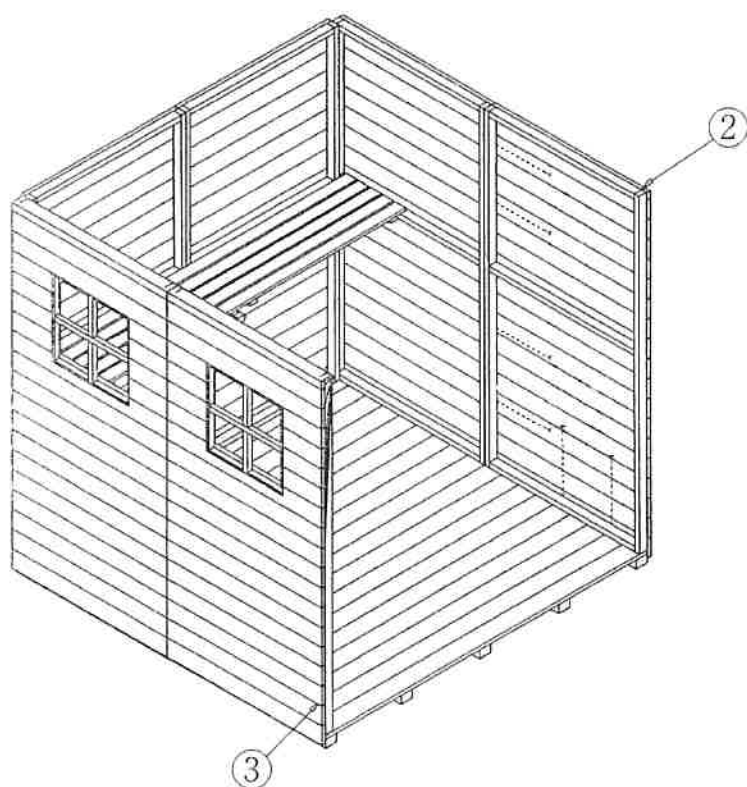
5

棚板⑥（オプション）を棚受（オプション）の上にのせ、ビス②⑧で固定します。



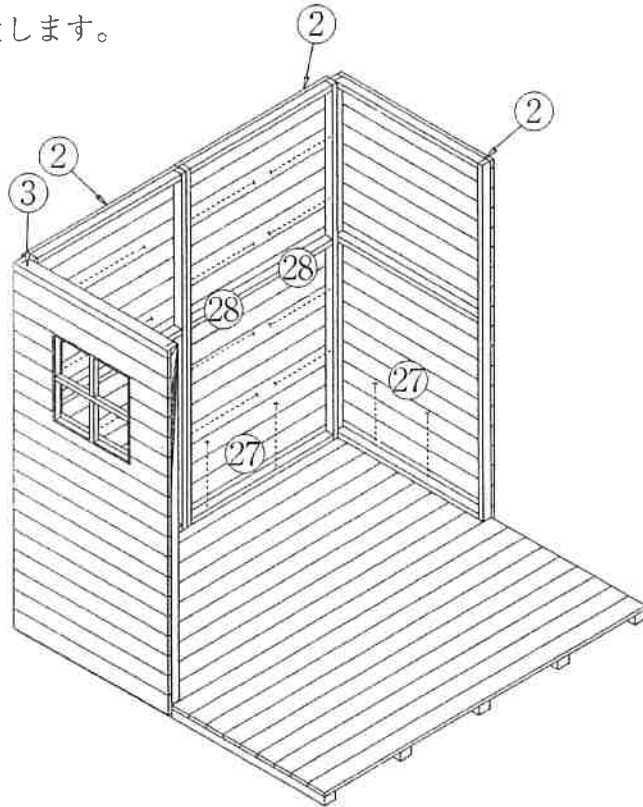
6

壁パネル②、③を立てて、ビス②⑦、②⑧で固定します。



3

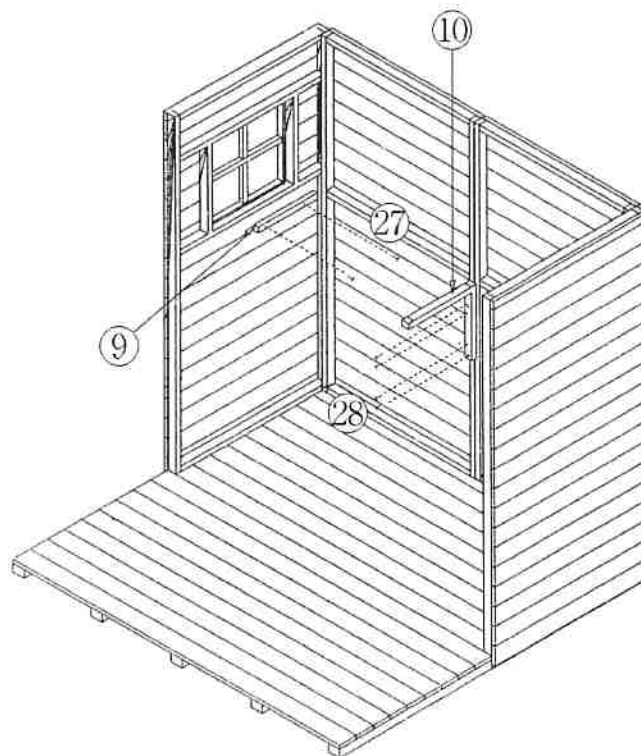
壁パネル②及び③を設置します。
下枠にはビス②⑦を、
継ぎ目にはビス②⑧を
打って固定します。



注:窓パネルの位置は自由に選ぶことができます。

4

棚板（オプション）を取り付ける場合、棚受⑨、⑩（オプション）を
ビス②⑦、②⑧固定します。

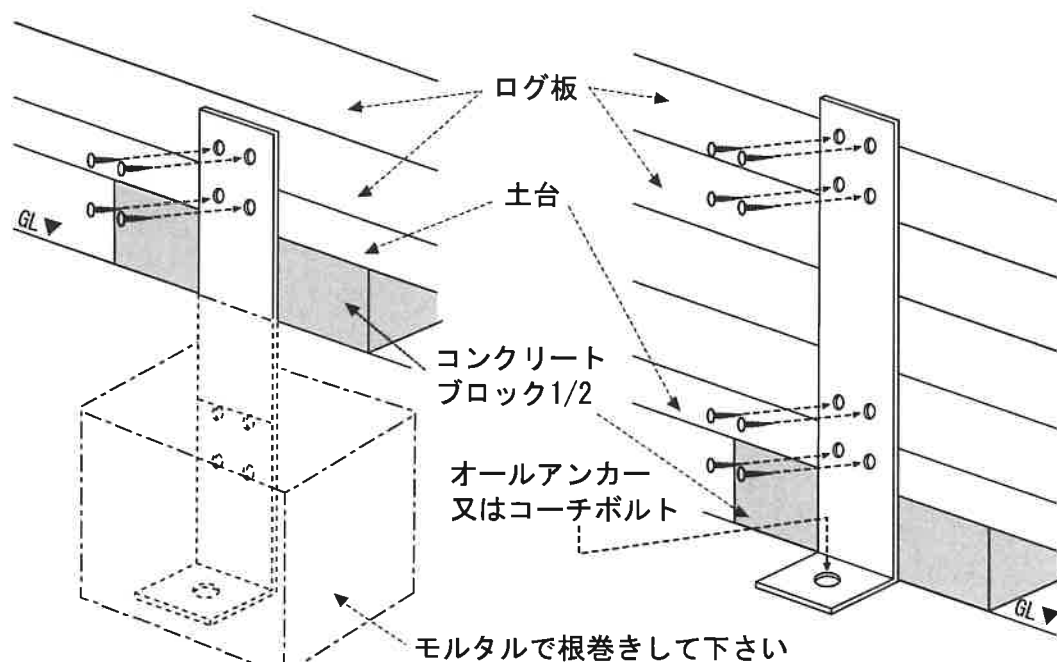


18

アンカープレートの施工（オプション）

〔アンカープレートを地中に埋め込む場合〕

〔アンカープレートを地中に埋め込まない場合〕



※各コーナーにつき1ヶ所使用して下さい。

—そ の 他—

・オプションとして

- ・ブロック（1／2ブロック、又は基本ブロック）
- ・アンカープレート工事 ・雨どい工事
- ・窓追加工事
- ・屋根材の変更工事（U瓦、及びコロニアルタイプ）等のグレードアップパーツが取りそろえております。

・安全のため、アンカー工事をするをお勧めします。

・価格については別紙カタログをご覧ください。

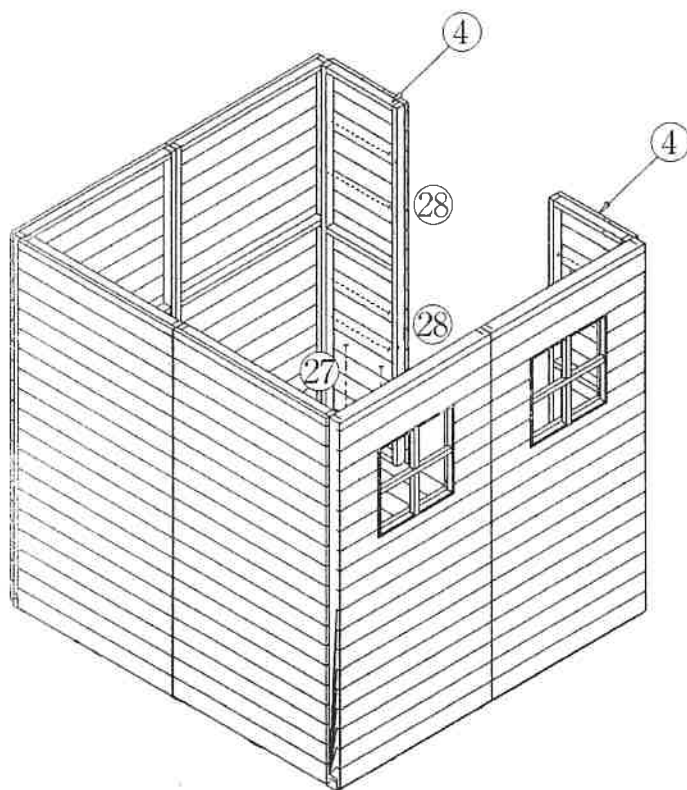
—ご使用にあたってのご注意—

1. このハウスは床面積が少ないため、転倒または吹き飛ばされる事があります。転倒防止工事をお願いします。
2. 材質は中国桧ですので、耐水性に優れています。
長持ちさせるため、又は変色を防ぐために、定期的に塗装することをおすすめします。
3. 木製商品のため、長い間にはソリ、ネジレ、ヒビ等が発生するおそれがありますので、ご了承下さい。
4. さらに長持ちさせるために、年1回のお手入れをお勧めします。

※特に風当たりの強い場所に設置する場合は、転倒防止に充分ご注意下さい。

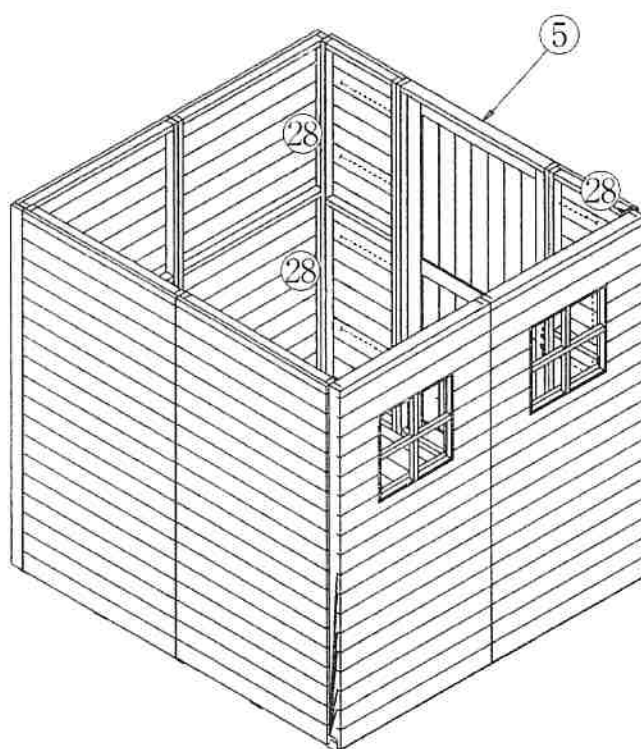
7

壁パネル④を立てて、ビス②⑦、②⑧で固定します。



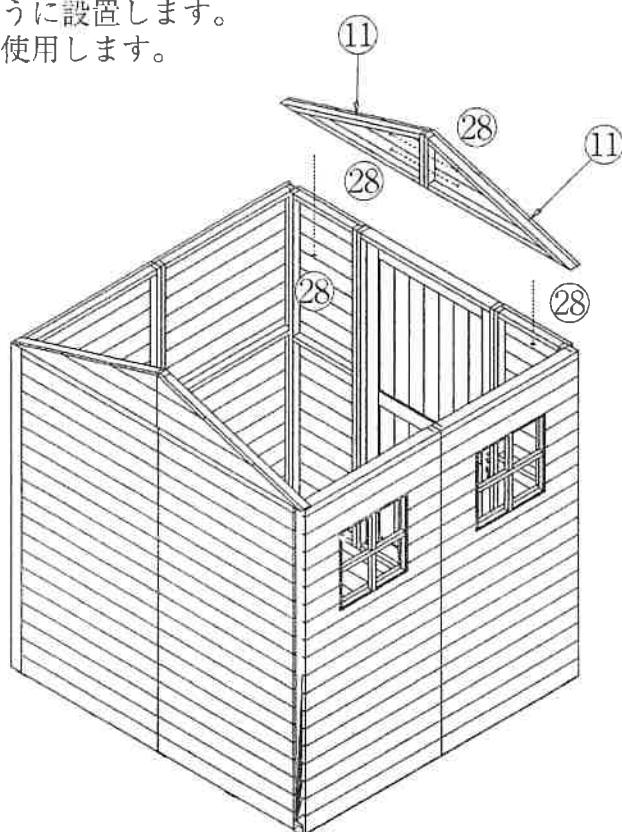
8

ドアパネル⑤をはめ込み、ビス②⑧で固定します。



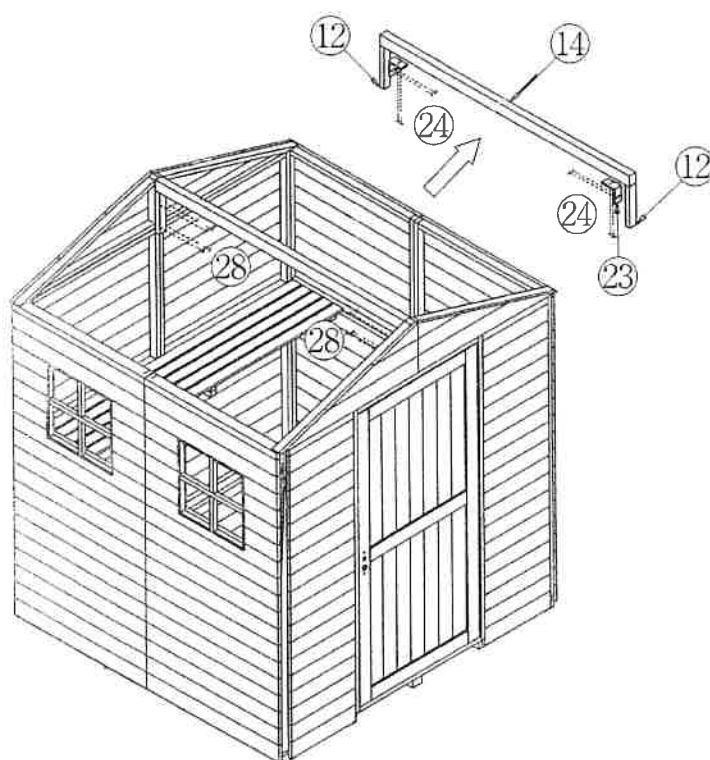
9

ツマ壁⑪を図のように設置します。
固定にはビス⑳を使用します。



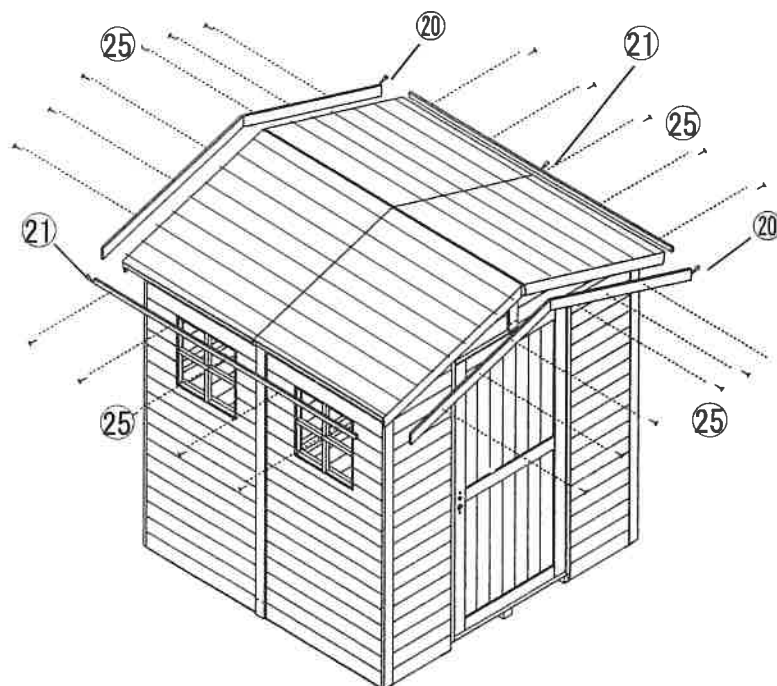
10

棟木⑭及び棟木受け⑫とL型金具⑬を図のように組み合わせて設置します。
固定はビス㉔及びビス㉔を使用します。



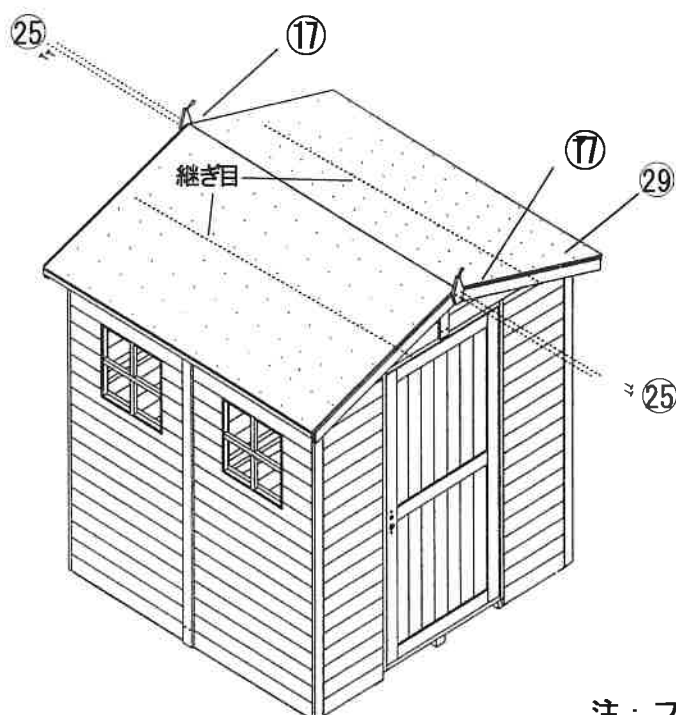
15

破風板⑳と㉑を、図のようにビス㉒で打ちつけます。



16

棟飾り⑰をビス㉒で打ち付けます。
アスファルトルーフィング⑲を屋根に敷きつめます。



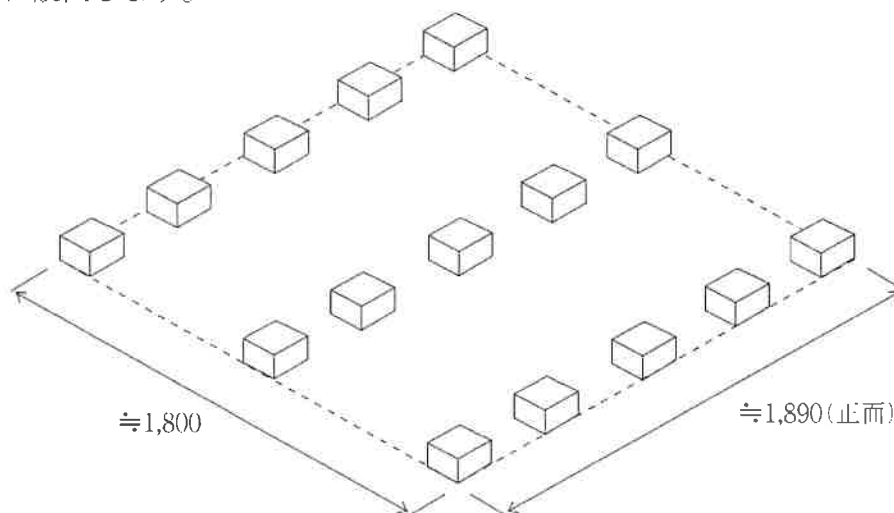
注：フェルト同志の重ねは
十分にとって下さい。

—組立順序のご説明—

- 安全確保の為、転倒防止工事には充分ご注意ください。
- この機種は、転倒風圧が大きいので特に注意が必要です。
- ビス止めを必要とする部材にはすべて仮穴をあけて下さい。

1

コンクリートブロック1/2を、下図のように床根太の下に入るように配置し、水平に設置します。

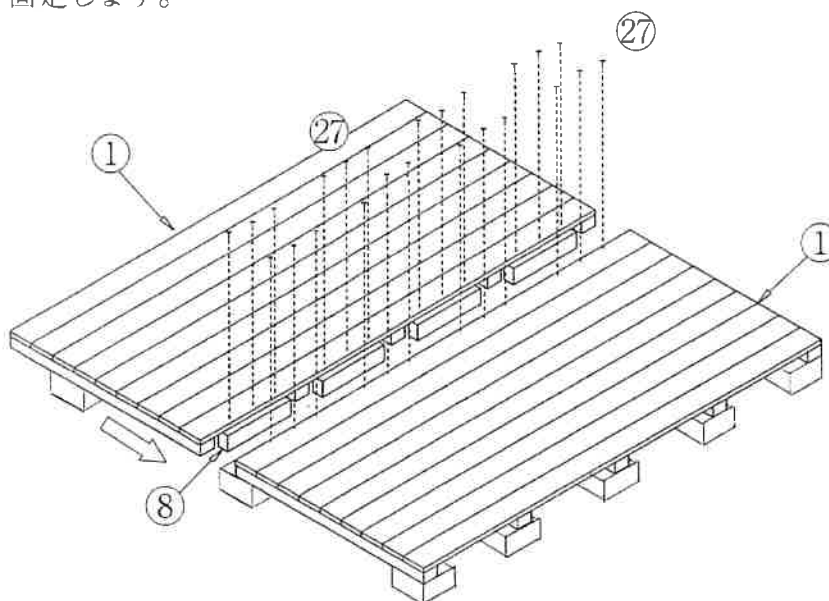


注:ブロックは必ず水平に設置して下さい。

水平でない場合、ドアの開閉等において不具合が発生する恐れがあります。

2

ブロックの上に床板①を敷きます。あらかじめ継ぎ目に転び止め⑧を入れ、ビス②⑦で固定します。



注:ブロックの上に床根太がきちんとのっていることを確認して下さい。